



総合計画の5つの基本目標への取り組み



子どもがいきいき育つまち



市内の認定こども園や保育園との連携をさらに深めるとともに、新たに小規模保育事業や事業所内保育事業の実施を検討し、保育受け入れ枠の確保に努めます。市内小中学校12校の児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、ICT教育を推進していきます。また、岳洋中学校区をモデル校として行ってきた小中一貫教育への取り組みは、本年度から新たに菊川西中学校区と菊川東中学校区に学舎を立ち上げ、菊川型カリキュラムを編成・実施します。



健康で元気に暮らせるまち

地域や企業・事業所と連携しながら、健康増進事業を進めます。特に、がん検診の受診率向上と風しん抗体検査および予防接種の実施率向上に力を入れていきます。また、高齢者が住み慣れた地域で暮らしを続けられるよう、保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、生活習慣病などの重症化予防や加齢による心身の機能低下の予防事業に取り組みます。

スポーツの分野では、1人1スポーツの推奨を通して生涯スポーツの普及に取り組みます。



活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち



農業分野では、農業所得の減少、担い手不足や高齢化、荒廃農地の増加に対応するため、次世代農業モデルを推進します。また、本市の重要な産業である茶業では、茶業振興計画に基づき、茶業関係者と一体となって経営体育成や深蒸し菊川茶ブランドの確立、茶文化の継承に取り組んでいきます。

商工業では、企業が操業・進出しやすい環境づくりを行うとともに、市内企業が持続的に発展できるよう、事業承継の円滑化を進めます。観光では、地域資源や自然景観を生かした体験型観光に取り組むほか、きくる広場を活用した「きくるマルシェ」を発展させていきます。



快適な環境で安心して暮らせるまち

大規模な自然災害への備えとして、家庭での災害対策の支援や各地区の防災組織体制の充実、防災資機材の整備などを進めます。また、菊川の流域一帯での治水対策を国・県などの関係機関と連携し推進していきます。

交通基盤については、「都市計画道路青葉通り嶺田線」の詳細設計などを行うほか、「掛川浜岡線小笠バイパス」や「市道大須賀金谷線」など主要路線の改良工事を進めます。また、ごみの排出量削減への取り組みや公共下水道整備など、環境保全を進めます。



まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち



引き続き庁舎東館プラザきくるを核として、各種イベントなどを実施し、賑わいを創り出します。外国人住民の皆さんに対しては、多言語での情報提供や相談対応を行う外国人相談窓口の運営、SNSを活用した多言語での情報発信などを行います。

市税などの納付方法に、スマートフォンによる決済を加えます。また、体育施設や地区センターなどの予約システムの運用を開始するなど、デジタル化・オンライン化を進めます。